

Kansai Economic Insight Monthly

2016/9/26

Vol.41 August/September

・APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・レポート公開時期は毎月第4週火曜日を予定しています。

・執筆者は、稲田義久(甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長)、林万平・木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh Nguyet (各APIR 研究員) 及び豊原法彦(関西学院大学教授)です。

・本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要旨	1
関西経済のトレンドとCI, CLI	2
景気の現況	3
関空モニター	9
中国景気モニター	9
主要月次統計	13
Release Calendar	14

要旨

-足下緩やかな回復が続くも、鈍化傾向*-

- ✓ 7月の鉱工業生産指数は4カ月連続のマイナス。4-6月平均比-2.1%となっており、生産の基調は弱い。
- ✓ 8月の輸出は11カ月連続の前年比マイナス。輸入は12カ月連続の同マイナス。大幅な円高進行により輸入減が輸出減を上回る状況が続いている結果、貿易収支は7カ月連続の黒字。
- ✓ 8月の消費者態度指数は雇用環境や収入の増え方指数の改善により、2カ月ぶりの改善。一方、景気ウォッチャー現状判断DIは2カ月ぶりに悪化したものの、公共工事受注増加等、売上増加への期待から、先行き判断DIは2カ月連続で改善した。
- ✓ 5月の関西2府4県の現金給与総額は4カ月ぶりの小幅下落。一方、6月の「関西コア」賃金指数は2カ月ぶりに上昇した。
- ✓ 7月の大型小売店の販売額は5カ月ぶりの前年比プラス。百貨店は7カ月連続の同マイナスも、スーパーは2カ月連続の同プラス。百貨店の減速が続いている。
- ✓ 7月の新設住宅着工戸数は2カ月ぶりの前年比プラス。8月のマンション契約率は3カ月連続で70%台を上回った。
- ✓ 7月の有効求人倍率は、6カ月連続の小幅上昇。新規求人倍率は2カ月連続で下落したものの、高水準を維持。完全失業率は2カ月ぶりに改善しており、雇用情勢は堅調である。
- ✓ 8月の公共工事請負金額は2カ月連続の前年比プラスも、季節調整値で見れば3カ月ぶりのマイナス。
- ✓ 8月の関空への訪日外客数は51万8,880人で43カ月連続のプラス。国籍別にみると、6月の中国からの訪日外客数の伸びはマイナスであった前月から一転し、2カ月ぶりのプラス。
- ✓ 中国8月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は5カ月ぶりの改善。リコノミクス指数(APIR試算)は前年比8カ月連続で上昇しているものの、伸びは小幅にとどまる。

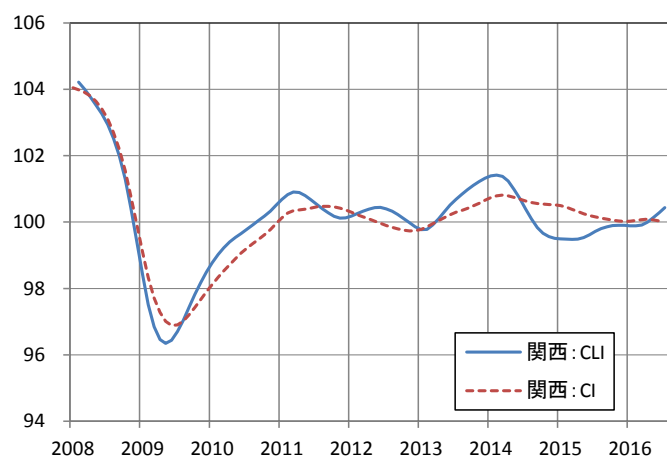
※景気の基調判断はAPIR(豊原法彦リサーチリーダー)開発の関西景気動向指数(CI, CLI)に基づいている。
関西全体のCI, 試作CLIの推移は2ページを参照。

【関西経済のトレンド】

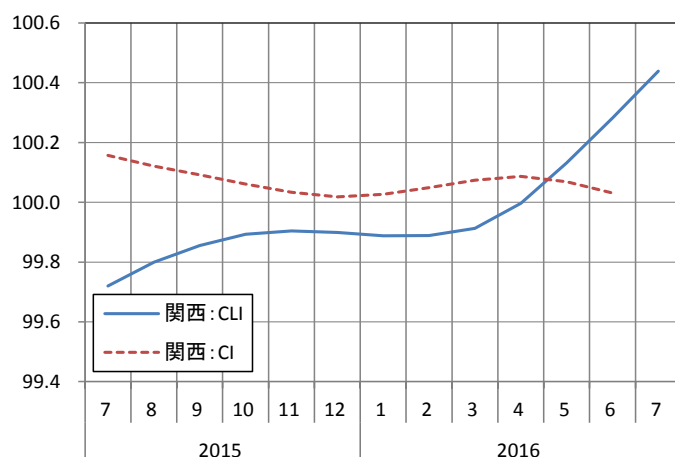
	2015年					2016年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
生産	↓	↑	↑	↓	↓	↑	↓	↑	↓	↓	↓	↓	
貿易	↑	↑	↑	→	↑	→	↑	↑	↑	→	↑	↑	→
センチメント	↓	↓	→	↓	↑	↓	↓	↓	↑	→	↓	↑	↓
消費	↑	↑	↑	→	→	↑	↑	→	→	↓	↓	→	
住宅	→	→	↑	→	↓	↑	↑	↑	↑	→	↓	↑	
雇用	↑	↑	→	↑	↑	→	↑	↑	↑	↑	↑	↑	
公共工事	↓	↓	↓	→	→	↓	↑	↑	↑	→	↓	↑	↑
中国	↓	→	→	→	↓	↓	↓	→	→	→	→	→	→

【関西の景気動向指数(CI一致指数・試作 CLI)の推移】

CI一致指数・試作 CLI の推移(2008年1月～2016年7月まで)



直近1年間の推移(2015年7月～2016年7月まで)



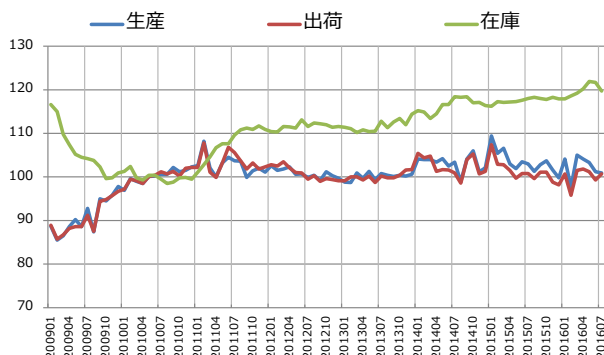
【鉱工業生産動向】

(1) 関西の生産動向

2016年7月の鉱工業指数(速報値:季節調整済, 2010年=100)を見ると、生産は100.9で前月比-0.9%と4カ月連続の下落。出荷は100.7で同+1.0%と3カ月ぶりの上昇。在庫は119.7で同-1.6%と2カ月連続の減少となった。なお、7月近畿の実質輸出は前月比マイナス(同-3.1%)だった。7月の生産は4-6月平均比-2.1%となっており、生産の基調は弱い。

業種別に生産指数をみると、化学(除. 医薬品)(前月比-8.9%, 2カ月連続)、はん用・生産用・業務用機械(同-2.9%, 2カ月連続)、繊維(同-3.7%, 3カ月ぶり)等が減産となった。一方、電子部品・デバイス(同+7.1%, 2カ月連続)、輸送機械(除. 航空機・鋼船・鉄道車両)(同+4.3%, 2カ月連続)、金属製品(同+4.2%, 4カ月ぶり)等が増産となった。

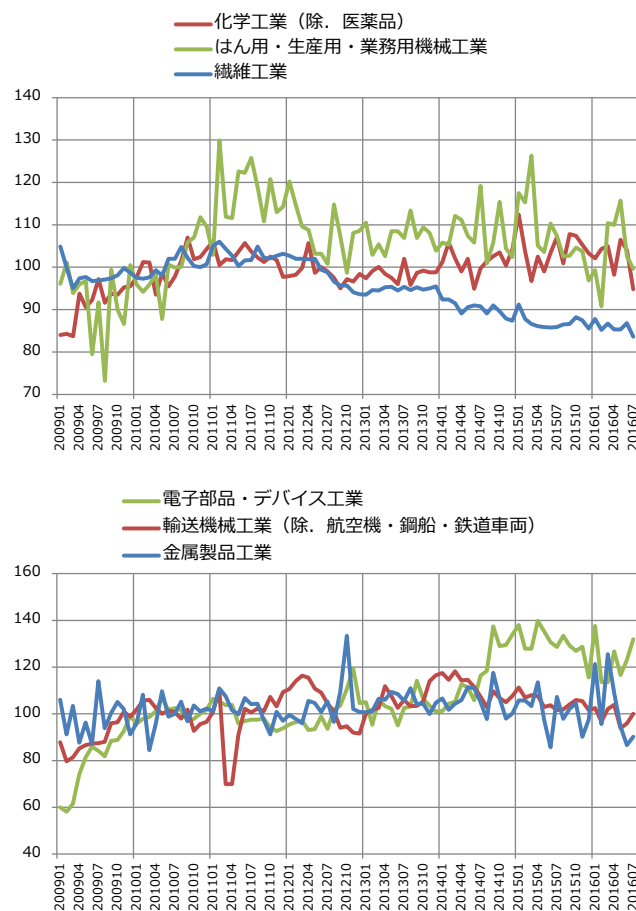
鉱工業指数の推移(関西: 2016年7月まで、2010年=100)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

業種別生産指数の推移(関西: 2016年7月まで、平成22年=100)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

(2) 全国の生産動向

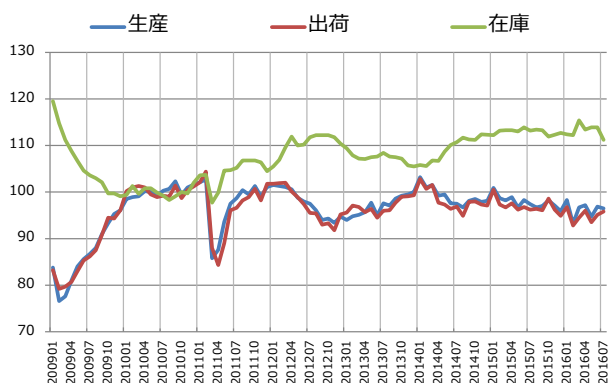
全国における7月の鉱工業指数(速報値:季節調整済, 2010年=100)を見ると、生産は96.5となり前月比-0.4%と2カ月ぶりの下落。出荷は95.8で同+0.7%と2カ月連続の上昇。在庫は111.2で同-2.4%と3カ月ぶりの下落。

業種別にみると、食料品・たばこ(同-2.2%)、金属製品(同-3.1%)、はん用・生産用・業務用機械(同-0.8%)等を中心に減産となった。一方、電子部品・デバイス(同+1.5%)、電気機械(同+1.6%)、輸送機械(同+0.3%)、は増産となった。

速報値公表時に発表された製造工業生産予測調査によれば、8月は同+4.1%、9月は同-0.7%となっている。ただ、

前回の同調査では7月が+2.4%であったものの、足下、生産はマイナスとなっており、生産動向は楽観視できない。

鉱工業指数の推移(全国:2016年7月まで、2010年=100)



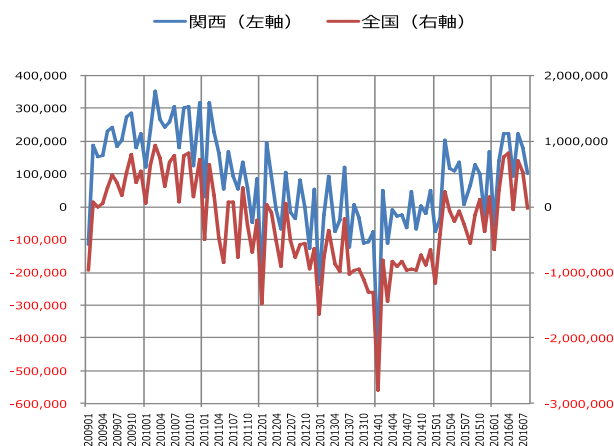
(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、8月関西の貿易収支は+1,005億円と7カ月連続の黒字となり、貿易収支は前年同月比+53.1%と3カ月連続で拡大した。全国の貿易収支(速報値)は-187億円と3カ月ぶりの赤字となったが、赤字幅は前年同月比-96.7%縮小した。大幅な円高進行により輸出減が続いている一方、資源価格の低下もあり、輸入減が輸出減を上回る状況が続いている。結果、関西は貿易収支の黒字を維持したが、全国は赤字となった。

関西・全国の貿易収支の推移:(百万円, 2016年8月まで)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」

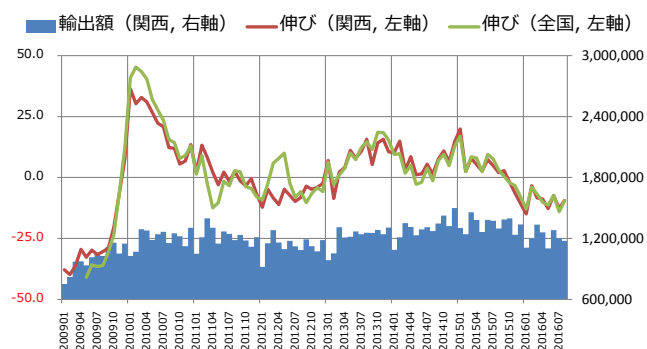
(2) 輸出

関西8月の輸出額(速報値)は1兆1,774億円。前年同月比-9.4%減少し、11カ月連続の減少。財別に見れば、鉄鋼、半導体等電子部品の輸出が減少した。

全国8月の輸出額(速報値)は5兆3,164億円、前年同月比-9.6%と11カ月連続の減少。財別に見れば、自動車、鉄鋼、有機化合物の輸出が減少。

同月の為替レート(税関長公示レートベース)は103.24円で前年同月比+16.8%と7カ月連続で円高に振れた。

関西・全国の輸出の推移(百万円, 前年同月比, 2016年8月まで)



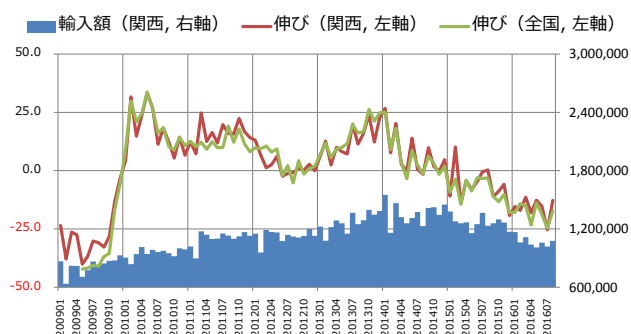
(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」

(3) 輸入

関西8月の輸入額(速報値)は1兆769億円、伸びは前年同月比-12.7%と12カ月連続の減少。財別に見れば、原油及び粗油、天然ガス及び製造ガスが減少した。

全国8月の輸入額(速報値)は5兆3,351億円、前年同月比-17.3%と20カ月連続の減少。財別に見れば、原油、液化天然ガス、石油製品等の輸入が減少している。資源価格は引き続き大幅下落傾向にある。

関西・全国の輸入の推移(百万円, 前年同月比, 2016年8月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

(4) 関西の地域別貿易

関西8月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は+1,813億円と7カ月連続の黒字となり、貿易収支は前年同月比+12.4%拡大した。3カ月連続のプラス。輸出は10カ月連続の減少(同-9.4%)。財別に見れば、半導体等電子部品、鉄鋼等が減少した。一方、輸入は12カ月連続の減少(同-14.2%)。財別に見ると、衣類及び同付属品、事務用機器等が減少した。

うち、対中貿易収支は-512億円と54カ月連続の赤字も、赤字幅は前年同月から大幅縮小した(同-43.5%)。輸出は6カ月連続の減少(同-5.8%)。輸入は5カ月連続の減少(同-14.3%)となった。

対米貿易収支は+653億円と黒字基調が続いているものの、黒字幅は2カ月連続で前年から縮小(同-5.4%)。うち、輸出は10カ月連続のマイナス(同-7.1%)。財別に見れば、鉄鋼、金属加工機械等が減少した。輸入も7カ月連続の減少(同-8.3%)。財別に見れば、天然ガス及び製造ガス、無機化合物等が減少となった。

対EU貿易収支は-142億円と3カ月ぶりの赤字となり、赤字幅は前年同月比+133.4%拡大した。輸出は11カ月連続の減少(同-10.8%)。財別に見れば、有機化合物、プラスチック等が減少。輸入は6カ月連続の減少(同-4.2%)。財別に見れば、天然ガス及び製造ガス、有機化合物等が減少。

【消費者センチメント】

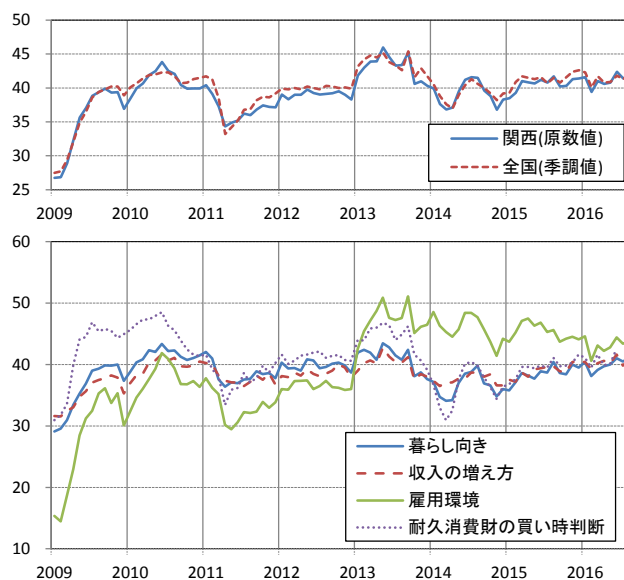
(1) 消費者態度指数の動向

関西の8月の消費者態度指数(原数値)は前月比+0.5ポイントの41.9で、2カ月ぶりの改善。全国(季節調整値)も同+0.7ポイントの42.0とこちらも2カ月ぶりに改善した。

4つの指標構成項目のうち、全国では全ての指標が前月から改善した。特に、失業率が改善したことで「雇用環境」指標が前月比+1.5ポイント上昇した。また、株価や為替の動きが比較的落ち着いたことも改善に寄与したと見られるが、内閣府は消費者心理の基調判断を「足踏みがみられる」として6カ月連続で据え置いた。

関西の同指数構成項目をみると、全国と同様、4指標全てが前月から改善した。内訳を見ると、「収入の増え方」が同+1.0ポイント、「暮らし向き」が同+0.6ポイント、「雇用環境」は同+0.4ポイント、「耐久消費財の買い時判断」が同+0.2ポイント(いずれも2カ月ぶり)それぞれ改善した。雇用・所得関連指標が好調であることが消費者心理の改善をもたらしたと見られる。

消費者態度指数(2016年8月まで)



(出所) 内閣府「消費動向調査」

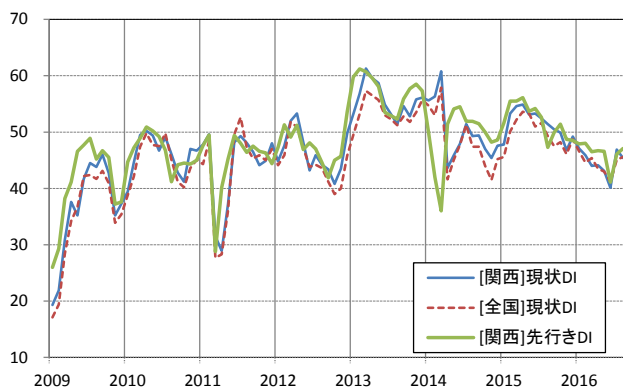
(2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の8月の現状判断DIは45.4と前月比-1.5ポイント低下し、2カ月ぶりの悪化。景況感のよし悪しの分かれ目となる50を11カ月連続で下回った。一方、全国は同+0.5ポイント小幅上昇し45.6となり、2カ月連続の改善となった。

背景として、猛暑によるエアコン等夏物商材の売れ行きが好調であったこと、新規受注が増加しつつあること等が改善に寄与した。また、リオオリンピックの開催により、テレビ等家電販売が好調であった一方で、観戦のため外出を控える人が増え、景況感を下押しした。これらの要因により、全体では小幅の改善にとどまった。一方、関西では百貨店を中心に高額消費の減少、インバウンド関連消費の減速や客単価の減少を懸念するコメントも多く、景況感の悪化につながったと見られる。

また、先行き判断DIは、関西では47.1と前月比+1.0ポイント上昇し、2カ月連続の改善。全国は47.4と同+0.3ポイント小幅上昇し、こちらも2カ月連続の改善。金融市場の動きに依然不透明感が残るものの、公共工事の受注増加、スマートフォンの新機種の発売など売上増加を期待するコメントも多く、先行き見通しは改善している。

景気ウォッチャー調査(2016年8月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

【所得・個人消費・住宅】

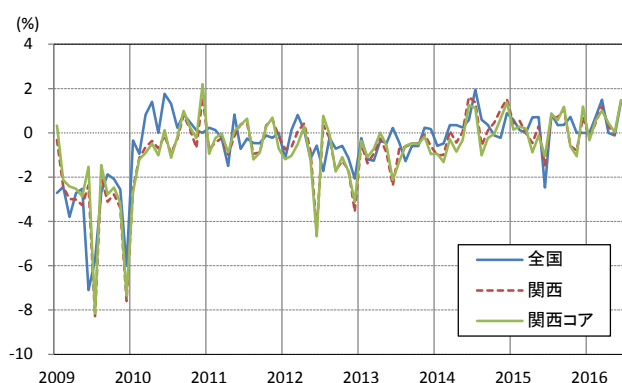
(1) 現金給与総額

5月の関西2府4県の現金給与総額(APIR推計)は26万

2,445円で前年同月比-0.1%となり、4カ月ぶりの小幅下落。府県別では、滋賀県が同+2.8%(4カ月連続)、京都府が同+1.1%(3カ月連続)上昇。一方、大阪府が同-0.1%(2カ月連続)、兵庫が同-0.4%(4カ月ぶり)、奈良県が同-2.3%(2カ月連続)、和歌山県では同-4.1%(6カ月連続)の下落となった。また、6月の京都・大阪・兵庫の加重平均をとった速報性のある「関西コア」賃金指数(APIR推計)は同+1.5%と2カ月ぶりに上昇した。

全国(確報値)の現金給与総額をみると、7月は前年同月比+1.2%と、2カ月連続の上昇。内訳をみると、所定内給与は同+0.3%と4カ月ぶりのプラス。所定外給与は同-1.8%と2カ月連続のマイナス。特別給与は同+3.7%と3カ月連続のプラス。また、現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は同+1.8%と6カ月連続で上昇した。

現金給与総額(前年同月比: %, 2016年7月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。

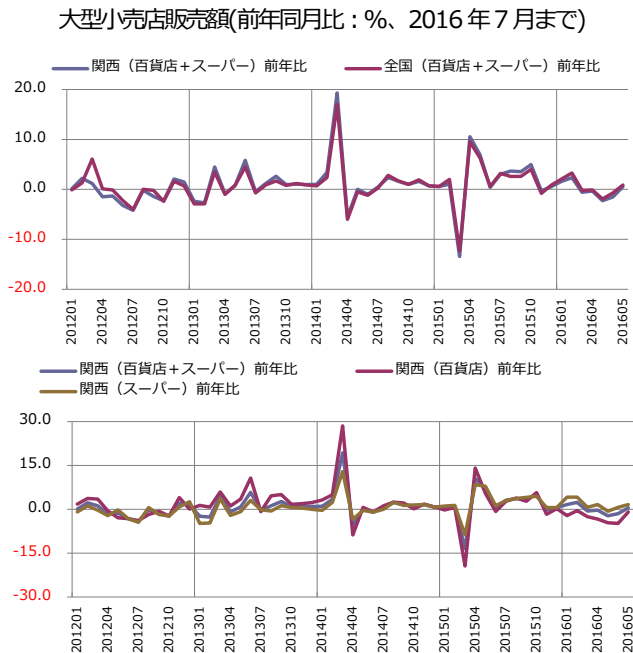
(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

(2) 大型小売店販売額

関西7月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+0.5%と5カ月ぶりのプラスとなった。百貨店は同-0.9%減少し(前月同-4.9%)、7カ月連続のマイナス。スーパーは同+1.6%と2カ月連続のプラス。

全国7月の大型小売店販売額(全店ベース)は前年同月比+0.9%と5カ月ぶりのプラスとなっている。

関西の大型小売店販売額は、7月は百貨店が引き続き減速しているものの、足下はプラスとなった。



(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動態統計」

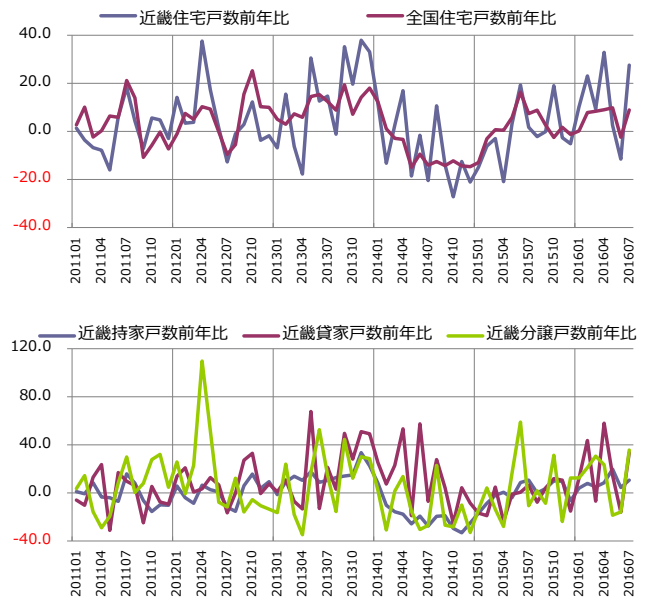
(3) 新設住宅着工の動向

関西7月の新設住宅着工戸数は13,028戸。前年同月比+27.6%となり、2カ月ぶりの増加。全国は85,208戸と同+8.9%増加し、2カ月ぶりのプラス。

関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は3,262戸。前年同月比+10.6%と7カ月連続のプラス。貸家は5,561戸、同+33.6%と2カ月ぶりのプラス。分譲は4,164戸、同+35.6%大幅増加し、3カ月ぶりのプラス。

8月の関西マンション契約率は73.8%(季節調整値、APIR推計)。好不調の目安となる70%を3カ月連続で上回った。首都圏は68.9%(季節調整値、APIR推計)と3カ月連続で70%を下回った。

新設住宅着工(前年同月比: %、2016年7月まで)



(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

【雇用動向】

(1) 求人倍率の動向

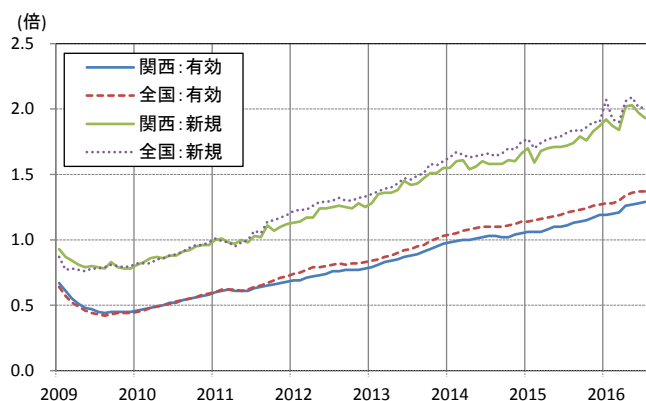
7月の関西の有効求人倍率は、1.29倍で前月比+0.01ポイントと6カ月連続の小幅上昇。1974年8月(1.26倍)を上回る高水準で推移している。7月の全国は1.37倍と同横ばいとなった。雇用情勢は好調が続いている。

有効求人倍率を府県別にみると、奈良県が前月比+0.03ポイント、次に京都府、大阪府、兵庫県がいずれも同+0.01ポイント上昇。一方、滋賀県は同横ばい。和歌山県では同-0.01ポイント下落した。

7月の関西の新規求人倍率は、1.93倍で前月比-0.04ポイントと2カ月連続の下落となったが、依然として高水準である。全国は2.01倍と同横ばいであった。

7月の関西の産業別新規求人数をみると、建設業、運輸・郵便業、学術研究・専門技術サービス業、教育・学習支援業、医療・福祉で前年同月と比べて増加。また、宿泊業・飲食サービス業では13カ月連続で増加した。

求人倍率の推移 (季節調整値、2016年7月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

関西2府4県有効求人倍率(2016年7月)

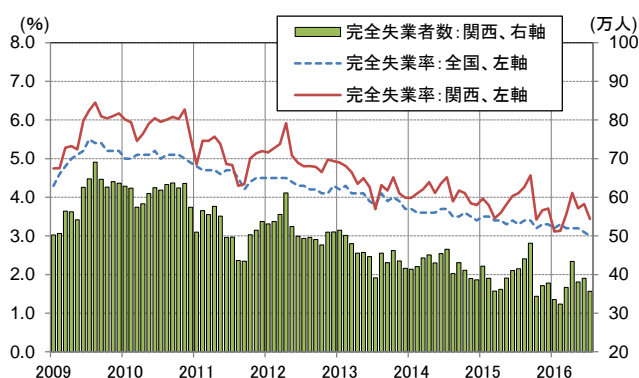
	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
7月	1.37	1.29	1.18	1.34	1.40	1.16	1.16	1.19
6月	1.37	1.28	1.18	1.33	1.39	1.15	1.13	1.20

(2) 完全失業率の推移

7月の関西の完全失業率(季節調整値: APIR 推計)は3.4%で前月比-0.4%ポイント低下し、2カ月ぶりの改善。労働力人口と就業者数がともに増加した前月から一転して、非労働力人口の増加と就業者数の減少が見られるが、雇用環境は堅調である。

関西の完全失業者数(季節調整値: APIR 推計)は35.7万人で前月から-3.3万人減少。2カ月ぶりの改善となった。

完全失業率の推移 (季節調整値: 2016年7月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」

全国の完全失業率(季節調整値)は3.0%となり、前月比-0.1%ポイント改善。1995年5月(3.0%)以来、21年2カ月ぶりの低水準であった。

7月の全国の完全失業者数(季節調整値)は201万人で前月から-7万人減少。理由別にみると、非自発的な離職と自発的な離職(自己都合)はともに1万人減少しており、新たに求職した人は-3万人減少していた。

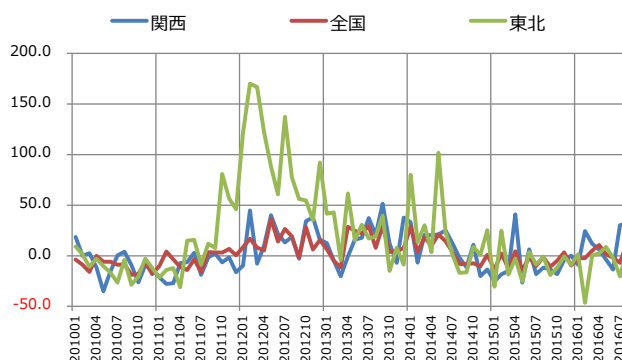
【公共投資】

(1) 公共工事請負金額

関西8月の公共工事請負金額は1,364億円で前年同月比+32.2%と2カ月連続の増加。全国は1兆2,473億円で同+12.7%と3カ月ぶりの増加。東北は2,248億円で同+5.4%と3カ月ぶりのプラス。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西は減少し、3カ月ぶりの小幅マイナス。全国は増加となり4カ月ぶりのプラスとなった(関西: 同-0.5%、全国: 同+18.8%)。

公共工事請負金額(前年同月比: %, 2016年8月まで)



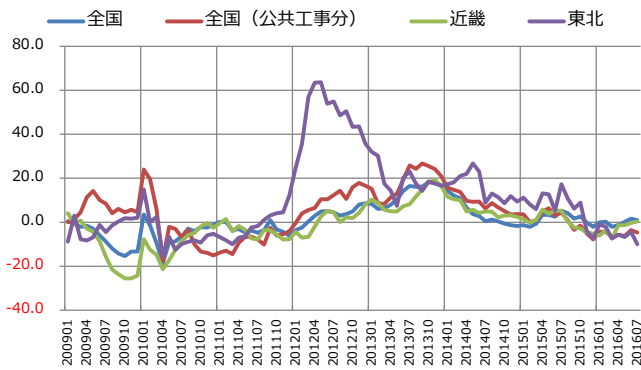
(出所) 東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

(2) 建設工事

関西7月の建設工事は5,020億円、前年同月比+0.3%と11カ月ぶりの増加。東北は4,998億円、同-10.0%と9カ月連続の減少。結果、全国は3兆9,704億円となり、同+0.9%と3カ月連続の上昇。全国の建設工事では多少の持ち直しが続く一方、東北は停滞が続いている。

うち、全国の公共工事は1兆4,788億円で同-4.6%と11カ月連続のマイナス。公共工事は依然マイナスが続いている。

建設工事(前年同月比: %、2016年7月まで)



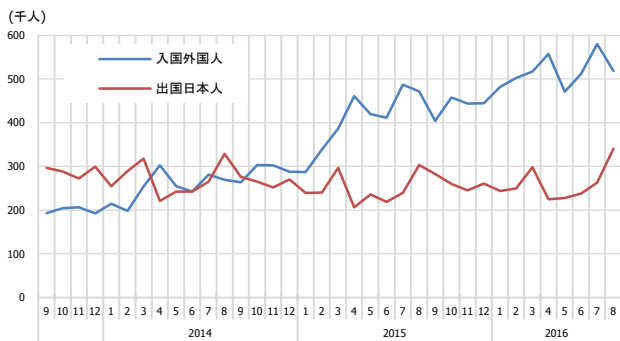
(出所) 国土交通省「建設総合統計」

【関空モニター】

(1) 訪日外客数トレンド

8月の関空への訪日外客数は51万8,880人となり、前年同月比+10.1%と43カ月連続のプラスとなった。また、外国人旅客総合数(出入国含む)は107万3,360人(同+9.6%)となった。一方、出国日本人数は34万540人で、伸びは同+12.2%と3カ月連続で増加した。

訪日外客数と出国日本人数(人、2016年8月まで)



(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

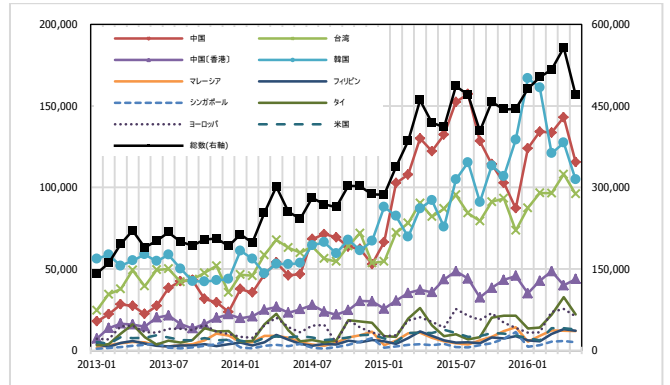
(2) 地域別訪日外客数

訪日外客数を地域別にみると、6月は中国(香港を除く)からの入国者数が13万9,948人(前年同月比+5.8%)と最も多く、マイナスだった前月(同-5.5%)から一転し、2カ月ぶりのプラスとなった。次いで、韓国が12万1,792人(同+60.6%)、台湾が10万8,627人(同+24.9%)、中国(香港)が5万457人(同+15.8%)であった。

他のアジア各国からの入国者数は、タイが1万3,805人(同+57.3%)、フィリピンが8,535人(同+39.8%)、マレーシアが5,506人(同-0.3%)、シンガポールが5,445人(同+37.8%)となった。

他地域を見ると、ヨーロッパが1万7,183人(同+23.0%)、米国が1万5,359人(同+20.8%)であった。

地域別訪日外客数(2016年6月: 人、右軸: 総数、左軸: 各国)



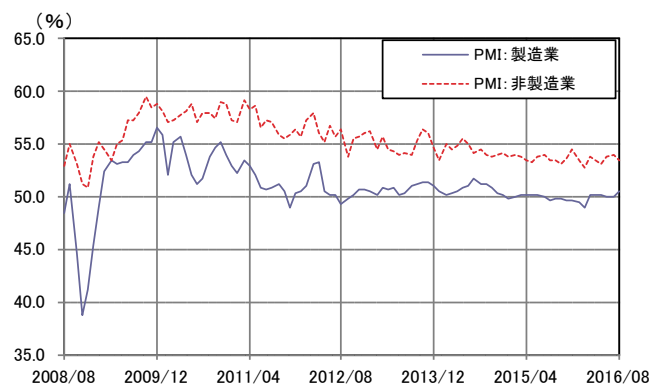
(出所) 法務省「出入国管理統計」

【中国景気モニター】

(1) センチメント

8月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は50.4となり、前月から+0.5ポイント上昇し、5カ月ぶりのプラス。一方、非製造業購買担当者景況指数は53.5となり、前月から-0.4ポイント下落し、3カ月ぶりのマイナスとなった。

中国非製造業購買担当者景況指数(2016年8月まで)

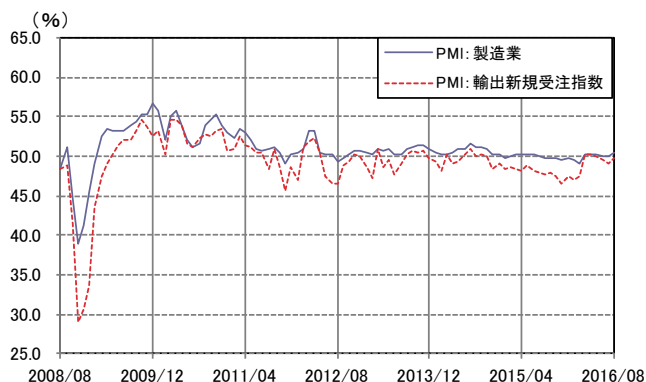


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

製造業 PMI のうち、生産指数は52.6となり、前月比+0.5ポイント上昇し、今年最高水準となった。一方、輸出新規受

注指数は49.7となり、先月から+0.7ポイント上昇したものの、3カ月連続で分岐点である50を下回った。また、雇用指数は48.4となり、同+0.2ポイント上昇。世界経済の回復は力強さを欠いており、生産・輸出において下振れ圧力は未だ残存している。

中国製造業購買担当者景況指数(2016年8月まで)

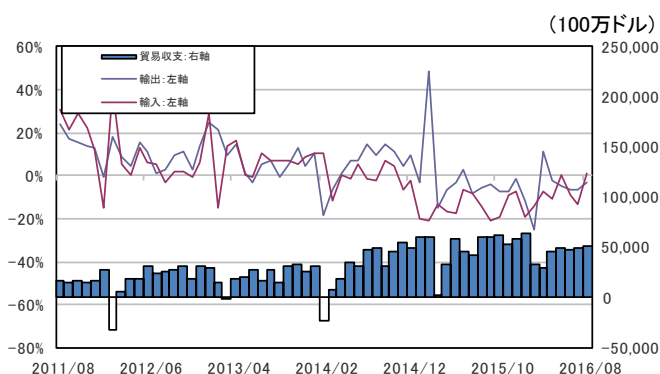


(出所) 中国国家統計局; CEIC データベース

(2) 貿易動向

8月の貿易収支は+520.5億ドルで、30カ月連続の黒字となっているが、黒字幅は前年同月より81.9億ドル縮小した。うち、輸出額(速報値、ドル・ベース)は1,906億ドルとなり、同-3.2%減少し、5カ月連続のマイナス。輸入額は1,385億ドルとなり、同+1.4%増加し、22カ月ぶりのプラス。

中国の貿易動向(前年同月比:ドル・ベース)(2016年8月まで)

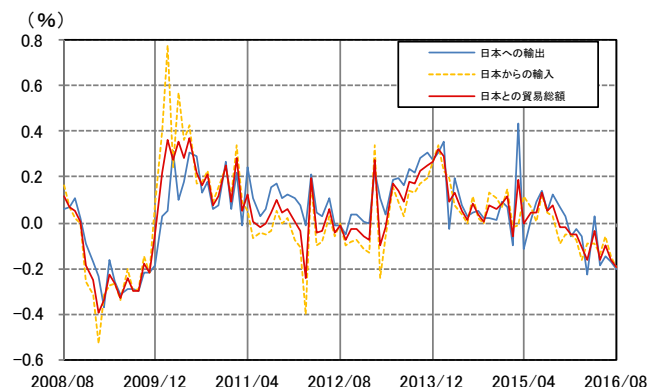


(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

うち、対日貿易収支は-19.4億ドルとなり、7カ月連続の赤字となった。対日輸出額は110.4億ドルとなり、前年同月

比+0.4%増加し、5カ月ぶりのプラス。一方、対日輸入額は129.8億ドルとなり、同+13.2%増加した。なお、円ベースで見ると、対日輸出額は同-17.5%と、5カ月連続のマイナス。対日輸入額は同-6.9%と、12カ月連続のマイナスであった。

日本との貿易(前年同月比:円ベース)(2016年8月まで)

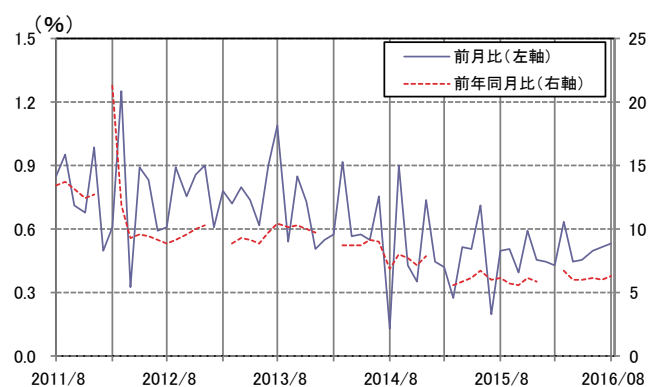


(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

(3) 工業生産

8月の工業生産は前月比+0.53%となり、伸びは前月(同+0.52%)から+0.01%ポイント上昇した。また、前年同月比では+6.3%となり、伸びは前月(同+6.0%)より+0.3%ポイント上昇した。

工業生産指数(2016年8月まで)



(出所) 中国国家統計局; CEIC データベース

産業別に見ると、自動車製造業(前年同月比+21.4%)、医薬製造業(同+11.5%)、パソコン・通信設備製造業(同+10.6%)、金属製品製造業(同+9.8%)などが高い伸びを示

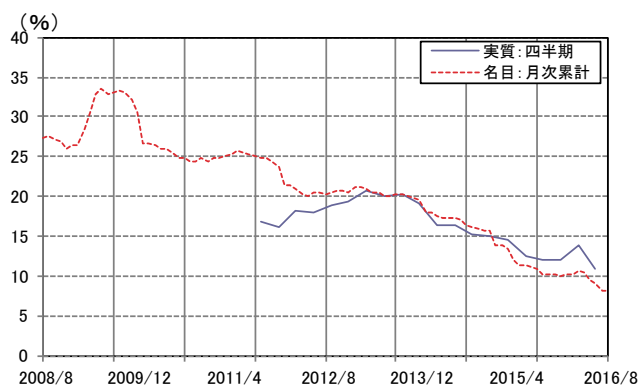
す一方で、有色金属圧延加工業(同+3.0%)、鉄道・輸送機器製造業(同+4.0%)などは比較的低調な伸びにとどまった。また、鉄鋼などの精練・圧延加工業(同-1.7%)は減産となった。

(4) 固定資産投資

1-8 月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同月比+8.1%となり、伸びは1-7 月期(+8.1%)と同水準を維持している。

産業別に見ると、第1次産業は前年同月比+21.5%、伸びは前月(同+20.6%)より+0.9%ポイント上昇し、2 カ月ぶりの加速。第2次産業は同+3.0%となり、前月(同+3.5%)から-0.5%ポイント低下し、4 カ月連続の減速。また、第3次産業は同+11.2%となり、前月(同+10.8%)から+0.4%ポイント上昇し、5 カ月ぶりの加速となった。

固定資産投資 (2016 年 8 まで) (累積伸び率)

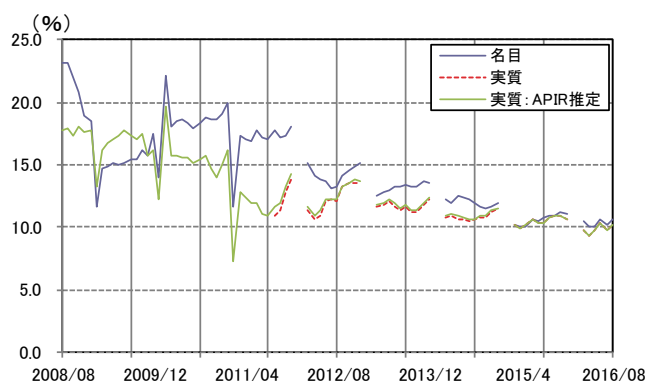


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(5) 消費

8 月の社会消費品小売総額(名目)は前年同月比+10.6%となり、前月(同+10.2%)より+0.4%ポイント上昇し、2 カ月ぶりに加速した。

社会消費品小売総額成長率の推移 (2016 年 8 月まで)



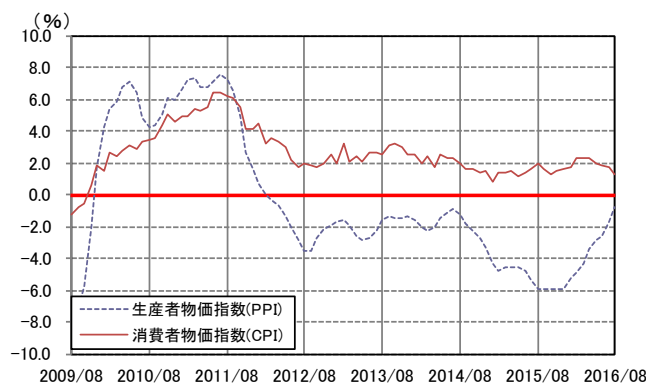
(注) APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(6) 物価水準

2016 年 8 月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+1.3%上昇した。しかし、食品価格下落の影響で、前月(同+1.8%)から-0.5%ポイント下落し、4 カ月連続で伸びは鈍化している。一方、生産者物価指数(PPI)は同-0.8%となり、下落幅は前月(同-1.7%)から+0.9%ポイント縮小した。過剰生産による生産者物価への押し下げ圧力は解消に向かいつつある。

消費者物価指数と生産者物価指数の推移
(2016 年 8 月まで : %)



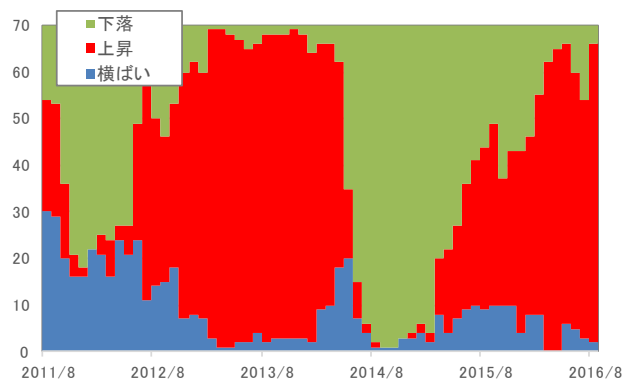
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(7) 不動産市場

8 月の不動産市場は低水準であった先月から一転し、大きく好転した。不動産価格(新築住宅価格)を見ると、主要 70 都市のうち、64 都市で上昇しており、前月と比較すると、13 都市が上昇に転じた。一方、4 都市では下落、2 都市で横

ばいであった。中国では不動産バブルが再燃していると思われる。

新築住宅価格の主要都市集計 (2015年8月まで：都市数)

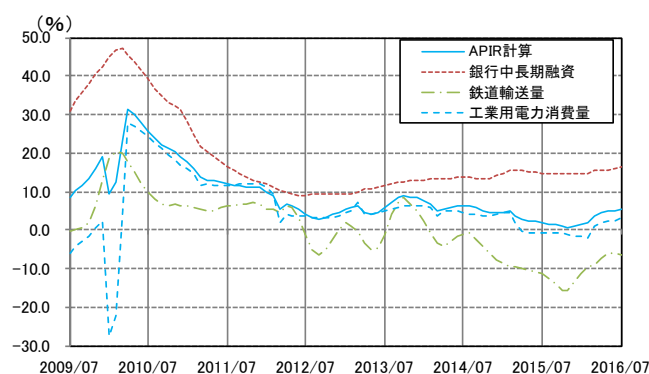


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(8) リコノミクス指数

7月のリコノミクス指数(APIR 試算)は前年同月比+5.3%となり、前月から+0.2%ポイント小幅上昇。8カ月連続のプラスとなったものの、伸びは小幅にとどまっている。内訳をみると、銀行中長期融資は同+16.3%、伸びは前月から+0.4%ポイント上昇。工業用電力消費量は同+3.1%、伸びは前月から+0.5%ポイント上昇。一方、鉄道輸送量は同-6.4%減少し、伸びは前月より-0.4%ポイント下落した。

APIR 試算のリコノミクス指数とその内訳(2016年7月まで：%)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

Contact : 林万平・木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh

Nguyet

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	15/8M	15/9M	15/10M	15/11M	15/12M	16/1M	16/2M	16/3M	16/4M	16/5M	16/6M	16/7M	16/8M
景況													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	51.4	50.5	49.9	46.8	49.2	47.1	45.9	44.0	44.1	43.1	40.1	46.9	45.4
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	50.4	50.8	49.5	44.2	45.7	46.8	44.4	42.4	40.7	41.9	38.1	45.4	43.2
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	47.3	49.9	51.4	48.7	48.5	47.9	48.0	46.5	46.7	46.6	41.1	46.1	47.1
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	49.3	47.5	48.2	46.1	48.7	46.6	44.6	45.4	43.5	43.0	41.2	45.1	45.6
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	48.8	47.0	48.1	44.4	47.7	45.6	43.2	44.3	42.2	41.9	40.2	44.5	44.1
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	48.2	49.1	49.1	48.2	48.2	49.5	48.2	46.7	45.5	47.3	41.5	47.1	47.4
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	41.7	40.2	40.3	41.3	41.4	41.6	39.4	41.0	40.6	40.8	42.4	41.4	41.9
[関西]「暮らし向き(原数値)	40.4	38.6	38.4	40.0	39.5	40.4	38.1	39.1	39.7	40.0	41.0	40.5	41.1
[関西]「収入の増え方(原数値)	39.7	38.9	38.8	40.4	40.4	40.4	39.3	40.2	40.6	40.2	41.6	39.8	40.8
[関西]「雇用環境(原数値)	45.6	43.7	44.2	44.5	44.1	44.6	40.6	43.1	42.2	42.8	44.4	43.4	43.8
[関西]「耐久消費財の買い時判断(原数値)	41.1	39.7	39.8	40.3	41.6	41.1	39.5	41.6	39.9	40.1	42.6	41.7	41.9
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	41.7	40.6	41.5	42.6	42.7	42.5	40.1	41.7	40.8	40.9	41.8	41.3	42.0
[関西]大型小売店販売額(10億円)	315.4	297.9	316.4	326.9	412.5	332.9	290.0	318.1	303.1	310.6	303.9	UN	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	3.7	3.5	5.0	-0.3	0.6	1.6	2.3	-0.6	-0.3	-2.3	-1.5	UN	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,605.6	1,511.4	1,607.2	1,650.1	2,092.5	1,691.3	1,488.6	1,646.0	1,545.8	1,597.9	1,567.5	UN	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	2.6	2.6	4.0	-0.8	0.9	2.1	3.2	-0.2	-0.1	-1.9	-0.7	UN	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	12,490	11,697	12,872	11,877	11,024	10,581	11,081	11,846	13,050	10,682	12,681	13,028	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比)	-2.1	-0.1	19.0	-2.6	-5.2	10.2	23.1	9.4	32.9	2.6	-11.5	27.6	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	80,255	77,872	77,153	79,697	75,452	67,815	72,831	75,744	82,398	78,728	85,953	85,208	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比)	8.8	2.6	-2.5	1.7	-1.3	0.2	7.8	8.4	9.0	9.8	-2.5	8.9	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	79.4	68.9	67.7	68.7	62.6	73.4	76.8	76.6	69.3	61.8	70.4	70.8	73.8
[関西]マンション契約率(原数値)	79.4	67.9	68.6	70.2	59.6	67.1	72.0	78.6	70.0	64.5	73.3	74.6	73.8
[全国]マンション契約率(季節調整値)	76.8	67.1	71.5	80.6	67.3	60.9	72.9	64.3	66.0	71.1	67.3	60.2	68.9
[全国]マンション契約率(原数値)	74.3	66.0	68.8	82.1	64.8	58.6	72.9	67.6	66.4	70.9	69.6	63.3	66.6
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	103.2	128.6	123.0	85.4	97.3	64.4	80.0	125.9	279.6	122.7	172.9	175.1	136.4
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比)	-11.6	-13.4	-18.2	-3.9	0.1	-8.8	24.3	12.0	6.2	-3.8	-13.7	30.1	32.2
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1,113.2	1,246.1	1,253.0	872.0	808.6	653.5	696.8	1,339.5	2,030.1	1,145.3	1,527.8	1,361.8	1,247.3
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比)	-1.3	-10.9	-4.8	3.3	-9.6	-2.6	-2.2	5.0	10.6	1.4	-1.8	-6.9	12.7
[関西]建設工事(総合、10億円)	507.4	521.0	540.7	561.0	578.1	564.6	562.6	531.5	461.9	461.4	485.4	485.4	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比)	0.2	-2.4	-2.8	-4.6	-5.2	-6.0	-3.7	-7.4	-1.3	-1.3	-0.3	-0.3	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	4,195.9	4,402.8	4,642.3	4,712.0	4,732.5	4,611.1	4,520.7	4,423.7	3,589.2	3,553.4	3,786.3	3,786.3	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比)	4.1	1.6	2.6	-0.1	-2.1	0.0	0.2	-2.1	-1.2	0.1	1.6	1.6	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	1,717.3	1,865.7	2,067.3	2,132.5	2,160.4	2,093.9	2,032.8	2,003.3	1,362.5	1,296.9	1,402.7	1,402.7	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比)	0.8	-3.5	-1.5	-5.1	-7.8	-4.3	-4.4	-6.4	-5.8	-6.3	-3.6	-3.6	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	100.4	101.6	104.1	102.5	99.2	104.1	98.9	105.0	104.1	103.3	101.8	100.9	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-2.3	1.2	1.3	-1.5	-3.0	4.9	-5.0	7.5	-0.9	-0.8	-1.5	-0.9	UN
[関西]「出荷指数(原数値、前年同月比)	0.1	1.0	-4.5	0.0	-3.6	-7.8	-2.1	-0.3	-1.3	3.2	-1.1	-3.3	UN
[関西]「在庫指数(原数値、前年同月比)	-0.3	0.2	0.9	0.0	1.1	1.4	1.1	1.8	2.6	3.9	3.5	1.4	UN
[関西]「出荷指数(季節調整値、10年=100)	98.7	100.6	102.1	99.4	98.2	100.7	95.8	101.5	101.8	101.2	99.7	100.7	UN
[関西]「出荷指数(季節調整値、前月比)	-1.8	1.9	0.5	-2.6	-0.6	2.5	-4.9	5.9	0.3	-0.6	-1.5	1.0	UN
[関西]「在庫指数(季節調整値、10年=100)	118.0	118.4	118.1	118.6	117.9	117.9	118.6	119.2	120.2	121.7	121.7	119.7	UN
[関西]「在庫指数(季節調整値、前月比)	-0.8	0.3	-0.4	0.4	-0.3	0.0	0.6	0.5	0.8	1.2	-0.2	-1.6	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	96.3	97.4	98.8	97.9	95.9	98.3	93.2	96.7	97.2	94.7	96.9	96.5	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-1.2	1.1	1.4	-0.9	-1.2	2.5	-5.2	3.8	0.5	-2.6	2.3	-0.4	UN
[全国]「出荷指数(原数値、前年同月比)	0.6	-1.5	-0.8	0.0	-2.5	-5.4	-1.6	-0.7	-3.4	-1.0	-1.7	-4.0	UN
[全国]「在庫指数(原数値、前年同月比)	2.1	2.1	0.2	0.0	0.0	0.2	-0.9	1.8	0.1	0.8	0.0	-1.8	UN
[全国]「出荷指数(季節調整値、10年=100)	95.5	96.8	98.8	96.4	94.9	96.8	92.8	94.5	96.0	93.5	95.1	95.8	UN
[全国]「出荷指数(季節調整値、前月比)	-0.7	1.4	2.1	-2.4	-1.4	2.0	-4.1	1.8	1.6	-2.6	1.7	0.7	UN
[全国]「在庫指数(季節調整値、10年=100)	114.0	113.6	111.4	111.9	112.7	112.4	112.2	115.4	113.4	113.9	113.9	111.2	UN
[全国]「在庫指数(季節調整値、前月比)	0.3	-0.4	-1.9	0.4	0.4	-0.3	-0.2	2.9	-1.7	0.4	0.0	-2.4	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比)	0.7	1.1	-0.6	-0.8	0.7	-0.2	0.5	1.2	0.3	-0.1	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比)	0.6	1.2	-0.6	-1.1	1.2	-0.3	0.6	1.0	0.4	0.0	1.5	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比)	0.4	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	1.5	0.0	-0.1	1.4	1.2	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	4.3	4.6	3.4	3.7	3.7	3.1	3.1	3.6	4.1	3.7	3.8	3.4	UN
[関西]完全失業率(原数値)	4.4	4.5	3.6	3.4	3.3	3.3	3.3	3.7	4.0	3.6	3.7	3.6	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.4	3.4	3.2	3.3	3.3	3.2	3.3	3.2	3.2	3.2	3.1	3.0	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.74	1.79	1.76	1.83	1.87	1.92	1.87	1.84	2.02	2.03	1.97	1.93	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.84	1.83	1.86	1.90	1.90	2.07	1.92	1.90	2.06	2.09	2.01	2.01	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.13	1.14	1.15	1.17	1.19	1.19	1.20	1.21	1.26	1.27	1.28	1.29	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.22	1.23	1.24	1.26	1.27	1.28	1.28	1.30	1.34	1.36	1.37	1.37	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	65.0	127.5	100.8	-29.3	167.5	-58.4	139.1	222.4	223.1	93.1	223.6	179.9	100.5
[関西]輸出(10億円)	1,299.4	1,386.8	1,398.2	1,237.0	1,338.7	1,110.0	1,199.9	1,337.1	1,261.0	1,102.9	1,281.8	1,199.4	1,177.4
[関西]輸出(前年同月比)	2.0	2.8	-1.9	-6.5	-10.8	-14.9	-3.4	-8.4	-8.8	-12.8	-7.3	-12.7	-9.4
[関西]輸入(10億円)	1,234.4	1,259.4	1,297.3	1,266.3	1,171.1	1,168.4	1,060.8	1,114.7	1,037.9	1,009.9	1,058.2	1,019.5	1,076.9
[関西]輸入(前年同月比)	0.4	-11.0	-8.8	-5.8	-19.3	-15.4	-17.1	-11.4	-18.1	-12.7	-15.3	-25.4	-12.7

注：鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く。

Release Calendar for August/September

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
29-Aug	30-Aug 全国貿易統計 (7月:速速) 商業動態調査 (7月:速報値) 求人倍率(7月) 完全失業率(7月)	31-Aug 全国鉱工業生産指数 (7月:速報値) 新設住宅着工(7月)	1-Sep 中国製造業 PMI (8月)	2-Sep 消費動向調査(8月)
5-Sep 毎月勤労統計 (7月:速報値)	6-Sep	7-Sep	8-Sep 景気ウォッチャー調査 (8月) 中国輸出入 (8月:速報値)	9-Sep 近畿鉱工業生産指数 (7月速報) 近畿貿易統計 (6月確報) 近畿貿易統計 (7月速速)
12-Sep 中国固定資産投資 (8月) 中国工業生産(8月) 中国消費小売総額 (8月)	13-Sep 商業動態調査 (7月:確報値)	14-Sep 全国鉱工業生産指数 (7月:確報値) マンション契約率 (8月)	15-Sep 公共工事前払保証額 統計(8月)	16-Sep 建設総合統計(7月)
19-Sep 中国不動産市場 (8月)	20-Sep	21-Sep 全国貿易統計 (8月:速報) 近畿貿易統計 (7月速報) 中国輸出入 (8月:確定値)	22-Sep	23-Sep 毎月勤労統計 (7月:確報値)
26-Sep	27-Sep 近畿鉱工業生産指数 (7月確報)	28-Sep	29-Sep 商業動態調査 (8月:速報値) 全国貿易統計 (8月:速速)	30-Sep 全国鉱工業生産指数 (8月:速報値) 新設住宅着工(8月) 求人倍率(8月) 完全失業率(8月)